

アクモスグループの新鮮情報をお伝えするIRマガジン

ACMOS HIGHWAY

アクモス ハイウェイ



Message

「守りから攻め」へ

グループ営業連携、人財力、
技術力を強化し、持続的な成長を目指す

アクモスジャンクション

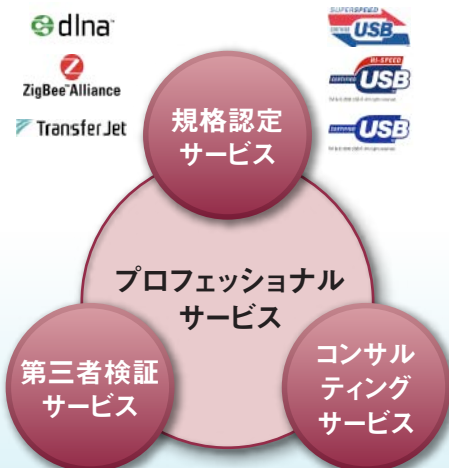
- 20期からのグループ体制
- 新子会社紹介
- 人を育てる

中期経営計画

中期経営計画(2010/07-2013/06)を発表
～守りから攻めへ～

2010
07

エクカルは規格認定サービス、 第三者検証及びこれらに関する コンサルティングサービスをご提供いたします



規格認定サービス

USB、DLNA、ZigBee、TransferJet™等のロゴ認定試験を実施できる世界有数の公式認定サービス機関です。

「TransferJet」及び「TransferJet」ロゴは、ソニー株式会社の高標です。

第三者検証サービス

ハードウェア製品ならびにソフトウェアの機能/性能検証、負荷検証、相互接続性検証、信頼性環境検証はもちろんのこと製品の使い易さやWeb画面の見易さ、操作し易さを評価するユーザビリティ評価など様々なサービスをご提供します。

コンサルティングサービス

各種検証仕様書/検証スク립トの作成、最新の検証方法のご案内、テストツール開発協力などもご提供出来ます。

株式会社エクカル

〒240-0005

横浜市保土ヶ谷区神戸町134番地

横浜ビジネスパーク イーストタワー14階

TEL:045-332-7333 FAX:045-332-7444

Email:kksales@xxcal.co.jp

http://www.xxcal.co.jp/



XXCAL JAPAN PROFESSIONAL TESTING SERVICE FOR INNOVATION
TESTING LABORATORIES

アクモスグループ (2010年6月30日現在)

商号：アクモス株式会社

設立：平成3年8月23日

資本金：6億9,325万円

社員数：連結277名(単体221名)

URL：http://www.acmos.co.jp/

■主な事業

- ・ITソリューション
- ・情報処理
- ・検証・評価・認証

Contents

02 Message

「守りから攻め」へ
グループ営業連携、人財力、
技術力を強化し、
持続的な成長を目指す

05 中期経営計画

中期経営計画(2010/07-2013/06)
を発表
～守りから攻めへ～

07 事業概況

- 連結財務諸表
- セグメント情報
- 単体財務データ

11 アクモスジャンクション

- 20期からのグループ体制
- 新子会社紹介
- 人を育てる

13 アンケート結果報告

14 株式の状況/役員の状況

「守りから攻め」へ

グループ営業連携、人財力、技術力を強化し、 持続的な成長を目指す

第19期を振り返って

第16期以来の当期純利益黒字化

当連結会計年度(以下「第19期」という)は、後半になって明るい兆しが少し見えてきたものの、お客様の投資抑制やアウトソーシングコスト削減の影響が前期以上に強くなった1年間でした。このような経営環境の激変に対応するため、「減収でも収益の出る体制」を目指して管理部門の業務統合や間接コストの削減に取り組んでまいりました。売上高3,911百万円、経常損失66百万円と、ともに当初の目標を達成することはできませんでしたが、当期純利益は41百万円と、第16期以来の黒字を確保することができました。厳しい結果ではありますが、第19期のミッションとして掲げた目標は、ある程度達成できたのではないかと考えております。



代表取締役社長 飯島 秀幸

情報技術事業に経営資源を集中

第19期はもう一つ、「選択と集中」をスローガンにグループ事業再編を行い、人材事業とBtoCのITサービス事業を譲渡(※1)したことにより、情報技術事業にグループの経営資源を集中することができました。

旧中期事業計画(2009-2011)の課題であった「収益力向上」や「グループ営業力強化」は、中期経営計画(2010/07-2013/06)の初年度である第20期の基本課題として継続して取り組みを進めてまいります。

新中期経営計画 ～守りから攻めへ～

グループ各社黒字、連結でも黒字を目指す

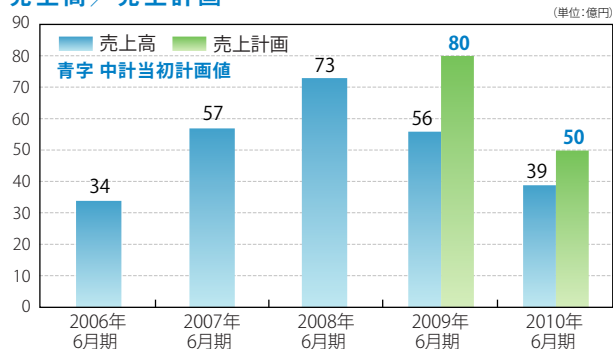
外部の景況感が上向くなど経済環境に回復の兆しが見えてきており、私たちのお客様にも、新しい成長分野へのシフトなど積極的な動きが出ております。為替動向の不安定さは懸念材料ではありますが、アクモスグループは攻めの営業によって、お客様の要望を先取りしていく方針です。

私たちは新中期経営計画で、進むべき方向性を明確にいたしました。

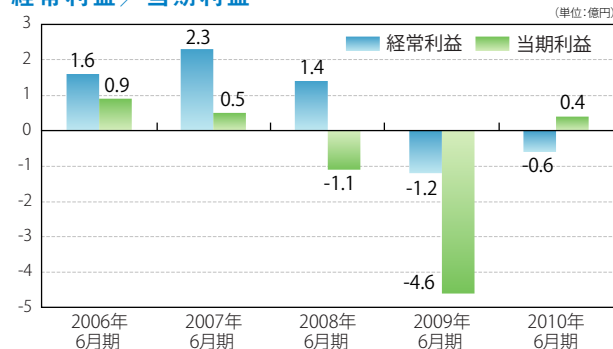
「守りから攻め」をキーワードに、**まずグループ間連携によるワンストップサービスができる体制を整備すること、次に売上規模より収益性を重視した経営を行うこと、最後にアライアンスを推進してより広く**

過去5年間の連結業績推移

売上高 / 売上計画



経常利益 / 当期利益



深いサービスをお客様に提供すること。この3つを基本方針として、諸施策を実行してまいります。

第20期は、新中期経営計画のスタートになる重要な年です。グループ各社も黒字、連結でも黒字を目指し、かつ第21期以降も持続的に成長できるよう営業力強化と人材育成に注力していきます。

第20期の業績見通しは、売上高3,300百万円、経常利益30百万円と堅実な目標かもしれませんが、これ以上を目指して活動してまいります。

そして、中期経営計画の最終的な目標、**第22期の売上高5,000百万円、営業利益250百万円の実現**に向け、社員一同邁進していく所存であります。

株主のみなさまへ

20周年にあたって

アクモスもおかげさまで設立20周年を迎えることができました。これも株主の皆様のご支援の賜物と、心から感謝しております。

第20期からは、いよいよ守りから攻めに転じます。

一日も早くご期待に沿える業績をあげて株主配当を実現したいと思っており、節目の年にあたってより一層努力いたしますので、引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

経営目標（定量目標）

（単位：百万円）

	第20期 2011年6月期	第21期 2012年6月期	第22期 2013年6月期	備考
売上高	3,300	3,900	5,000	脚注参照
営業利益	36	130	250	—
経常利益	30	115	200	—
当期純利益	30	80	160	—

注：2012年6月期、2013年6月期の目標にはITソリューション事業会社の新規M&A分の寄与分が含まれております。

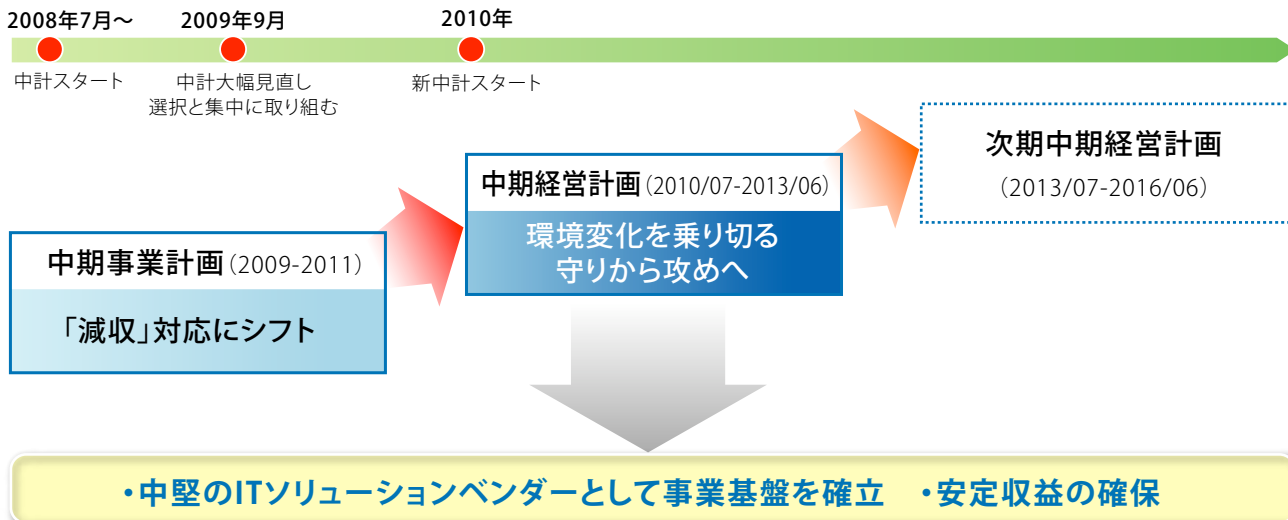
※1 人材事業のアクシスコンサルティング(株)は平成21年9月に、(株)マックスサポートは平成22年3月に、全株式を売却し連結から除外しております。BtoCのITサービス事業である(株)アルティは、平成22年3月に株式の一部を売却し連結から除外しております。

※2 目標数値は、2010年8月3日発表の中期経営計画に基づいております。中期経営計画発表日において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる場合がございます。

中期経営計画 (2010/07-2013/06) を発表～守りから攻めへ～

アクモスグループでは、第20期からの3カ年を、環境変化を乗り越える守りから攻めへの3カ年と位置づけ、柱とし、この3カ年で、ITソリューションベンダーとしての事業基盤を確立するとともに、安定収益の確保

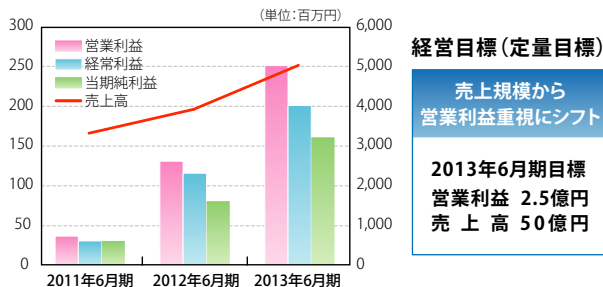
「選別の時代」のニーズに応えるITプロフェッショナルサービスの提供



中堅のITソリューションベンダーを目指して

旧中期事業計画 (2009-2011) では、「守りながら攻める」をキーワードに、「減収でも収益の出る体制」として管理部門統合、間接コスト削減に取り組む、「選択と集中」としてグループを再編、事業領域をBtoBの情報技術事業に集約いたしました。新中期経営計画 (2010/07-2013/06) では、「守りから攻め」をキーワードに、進むべき方向性を更に明確にし、「グループ間連携」「収益性の向上」「人材力・技術力の強化」に取り組んでまいります。

3カ年経営目標推移



注: 2012年6月期、2013年6月期の目標にはITソリューション事業会社の新規M&A分の寄与が含まれております。

「選別の時代」のニーズに応えるITプロフェッショナルサービスの提供をアクモスグループの事業の
を目指します。

基本方針



グループ連携によりお客様の多様な
要望に応える体制の整備

サービスの質の向上を追求

営業連携強化

ITサービスのワンストップ化

安定収益の確保、営業キャッシュフロー
の増加

堅実な事業基盤の確立
収益性の向上

持続的な株主還元

持続的成長のための人財力、技術力
の強化

人財力の強化

アクモスブランドの創出

「選別の時代」の顧客ニーズに応えるITプロフェッショナルサービスの提供

事業セグメント別計数計画と重点目標

(単位:百万円)

		2011年6月期	2012年6月期	2013年6月期
ITソリューション	売上高	2,871	3,448	4,489
	営業利益	90	173	282
ITサービス	売上高	494	565	650
	営業利益	1	27	53

※売上高、営業利益は連結相殺前のセグメント数値となっております。

1. 構築分野、サービス分野で更なる成長に挑戦
2. 安定収益の確保“営業利益の改善”
3. 人財力の強化

1. お客様のニーズにあったソリューション提案型の受注体制への転換
2. 専門サービス領域の確立
3. 事業再構築・収益基盤の回復（検証サービス事業）

※事業セグメントの詳細については、11ページ「20期からのグループ体制」もご参照ください。

※目標数値は、2010年8月3日発表の中期経営計画に基づいております。中期経営計画発表日において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる場合がございます。

連結財務諸表

■連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	第18期 2009年6月30日現在	第19期 2010年6月30日現在
資産の部		
流動資産	2,568,573	1,621,001
固定資産	897,318	680,392
有形固定資産	293,572	232,009
無形固定資産	438,611	336,554
投資その他の資産	165,134	111,829
資産合計	3,465,892	2,301,393
負債の部		
流動負債	1,224,303	487,409
固定負債	644,050	242,840
負債合計	1,868,353	730,249
純資産の部		
株主資本	1,438,313	1,476,929
資本金	693,250	693,250
資本剰余金	1,252,050	1,176,282
利益剰余金	△453,075	△338,691
自己株式	△53,911	△53,911
評価・換算差額等	△727	220
少数株主持分	159,952	93,994
純資産合計	1,597,538	1,571,144
負債純資産合計	3,465,892	2,301,393

ポイント解説 <資産の部>

総資産が減少した主な理由は、連結子会社4社の連結除外により総資産が750百万円減少したこと、借入金の返済により現金及び預金が減少したことによるものです。

■連結損益計算書

(単位:千円)

科目	第18期 自 2008年7月1日 至 2009年6月30日	第19期 自 2009年7月1日 至 2010年6月30日
売上高	5,651,435	3,911,394
売上原価	3,651,051	2,640,446
売上総利益	2,000,383	1,270,948
販売費及び一般管理費	2,108,527	1,376,617
営業利益(△損失)	△108,143	△105,669
営業外収益	31,176	57,844
営業外費用	45,702	18,428
経常利益(△損失)	△122,670	△66,252
特別利益	1,225	141,214
特別損失	356,932	54,418
税金等調整前当期純利益(△損失)	△478,377	20,542
法人税等	26,144	25,217
少数株主損失	35,383	46,638
当期純利益(△損失)	△469,138	41,962

ポイント解説

連結子会社4社の連結除外が影響し売上高が前年比で30.8%減少しています。販売費及び一般管理費は、経費削減により期末の連結対象会社だけで前年比203百万円削減しました。特別利益の主な内訳は子会社株式売却益134百万円、特別損失の主な内訳は(株)エクスカルの事業再構築引当金繰入額21百万円、特別退職金12百万円となっております。

ポイント解説 <負債、純資産の部>

<負債>負債減少の主な理由は、連結子会社4社の連結除外により負債が693百万円減少したこと、借入金の返済及び未払費用の減少によるものです。

<純資産>純資産減少の主な理由は、連結範囲の変更に伴う少数株主持分の減少によるものです。

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	第18期	第19期
	自 2008年7月1日 至 2009年6月30日	自 2009年7月1日 至 2010年6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,489	168,809
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,536	△190,331
財務活動によるキャッシュ・フロー	173,181	△467,398
現金及び現金同等物の増加額	136,019 [※]	△488,920
現金及び現金同等物の期首残高	1,364,667	1,500,686
現金及び現金同等物の期末残高	1,500,686	1,011,766

ポイント解説

期末の現金及び現金同等物が減少した主な理由は、有利子負債の返済によるものです。主に借入金の返済及び社債の償還672百万円により、財務CFが467百万円減少しました。

その他、主に売上債権の減少213百万円により営業CFが168百万円増加し、また主に貸付による152百万円の支出により投資CFが190百万円減少しております。

※子会社の連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額59,114千円を含む

■連結株主資本等変動計算書 (自 2009年7月1日 至 2010年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2009年6月30日残高	693,250	1,252,050	△453,075	△53,911	1,438,313
連結会計年度中の変動額					
欠損填補		△75,768	75,768		
当期純利益			41,962		41,962
連結範囲の変動			△3,347		△3,347
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	△75,768	114,383	—	38,615
2010年6月30日残高	693,250	1,176,282	△338,691	△53,911	1,476,929

(単位:千円)

	評価・換算差額等	少数株主持分	純資産合計
2009年6月30日残高	△727	159,952	1,597,538
連結会計年度中の変動額			
剰余金の配当			
当期純利益			41,962
連結範囲の変動			△3,347
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	947	△65,957	△65,010
連結会計年度中の変動額合計	947	△65,957	△26,394
2010年6月30日残高	220	93,994	1,571,144

ポイント解説

アクモス㈱において、欠損填補のため資本準備金を129百万円取り崩してその他資本剰余金へ振替し、うち75百万円を利益剰余金へ振替えました。

セグメント情報

情報技術事業のポイント

	第18期 通期	第19期 通期	(単位:百万円)
売上高	3,382	2,857	
営業利益	63	0.2	

■ITソリューション事業※2

売上高2,251百万円 営業利益29百万円
企業収益低迷の影響を受け、システム開発規模の縮小や開発計画の凍結により、前年比で売上高は8.6%減となるも、経費を18.5%削減し、営業利益は66.8%増となりました。

■IT製品のテストング事業

売上高232百万円 営業損失27百万円
景気回復の影響を強く受け、主力である規格認定試験の売上が減少、また第三者検証関連の売上も計画を大きく下回り、前期比で売上高が28.9%減、営業利益は38百万円減少となりました。

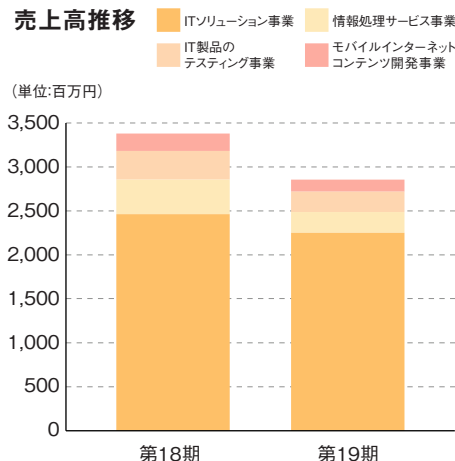
■情報処理サービス事業

売上高236百万円 営業利益41百万円
大型案件のあった前期に比べると、売上高が39.9%減少、営業利益は17.3%減となりましたが、従来の取引企業からの受注のほか、新規顧客の開拓も順調に推移しました。

■モバイルインターネットコンテンツ開発事業※3

売上高137百万円 営業損失43百万円
無料モデルの携帯電話向けコンテンツサービスの拡大による影響を受け、前期比で売上高は30.7%減、営業損失が28百万円増となりました。

売上高推移



※1.18期のセグメント及び事業の数値は、当期における変更後のセグメント及び事業に合わせて組替えています。

※2.平成22年3月に日本メカトロニクス株(現ACMOSソーシングサービス株)を取得し、ITソリューション事業に含めております。(平成22年4月から平成22年6月までの3ヶ月分の業績が含まれています)

※3.モバイルインターネットコンテンツ開発事業の株アカデミーは、平成22年3月に株式の一部を同社の代表取締役他1名へ売却し、連結の範囲から除外しております。(平成21年4月から平成22年3月までの12ヶ月分の業績が含まれています)

人材事業のポイント

	第18期 通期	第19期 通期	(単位:百万円)
売上高	2,319	1,065	
営業利益	△66	△17	

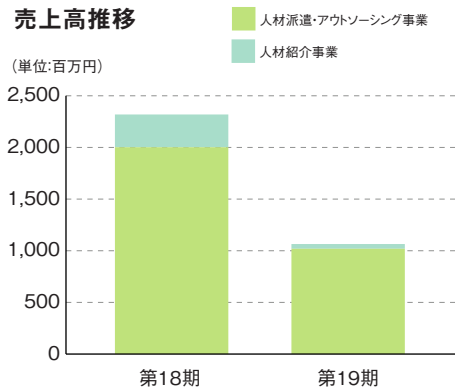
■人材派遣・アウトソーシング事業※2

売上高1,019百万円 営業利益6百万円
企業収益の低迷から雇用の過剰感が増大し、主要なお客様である物流系企業からの受注が大幅に減少するなど厳しい事業環境が続きました。

■人材紹介事業※3

売上高46百万円 営業損失23百万円
企業の採用抑制による雇用情勢悪化の影響を受け、売上が低迷しました。

売上高推移



※1.18期のセグメント及び事業の数値は、当期における変更後のセグメント及び事業に合わせて組替えています。

※2.人材派遣・アウトソーシング事業の株マックスサポートは、平成22年3月に全株式を同社の代表取締役へ売却したため、同社及び同社子会社の株マックスパートナーズを連結の範囲から除外しております。(平成21年7月から平成22年3月までの9ヶ月分の業績が含まれています)

※3.人材紹介事業のアクシスコンサルティング株は、平成21年9月に全株式を同社の経営陣へ売却したため、連結の範囲から除外しております。(平成21年7月から平成21年9月までの3ヶ月分の業績が含まれています)

※4.19期中に人材事業の子会社の株式を全て売却したため、19期末において当社グループは人材事業を営んでおりません。

単体財務データ

■貸借対照表

(単位:千円)

科目	第18期	第19期
	2009年6月30日現在	2010年6月30日現在
資産の部		
流動資産	1,302,600	1,253,218
固定資産	854,556	628,412
有形固定資産	198,279	188,035
無形固定資産	5,175	3,819
投資その他の資産	651,101	436,558
資産合計	2,157,156	1,881,631
負債の部		
流動負債	619,395	398,281
固定負債	313,580	235,220
負債合計	932,975	633,501
純資産の部		
株主資本	1,224,908	1,247,909
資本金	693,250	693,250
資本剰余金	661,338	585,570
利益剰余金	△75,768	23,001
自己株式	△53,911	△53,911
評価・換算差額等	△727	220
純資産合計	1,224,181	1,248,130
負債純資産合計	2,157,156	1,881,631

■損益計算書

(単位:千円)

科目	第18期	第19期
	自 2008年7月1日 至 2009年6月30日	自 2009年7月1日 至 2010年6月30日
売上高	2,526,307	2,239,095
売上原価	1,649,511	1,527,959
売上総利益	876,795	711,135
販売費及び一般管理費	833,880	666,572
営業利益	42,914	44,563
営業外収益	36,244	36,797
営業外費用	8,435	8,971
経常利益	70,724	72,388
特別利益	—	75,909
特別損失	417,486	119,469
税引前当期純利益 (△損失)	△346,762	28,829
法人税等	11,074	5,828
当期純利益(△損失)	△357,836	23,001

■株主資本等変動計算書 (自 2009年7月1日 至 2010年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本						評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
		資本準備金	その他資本剰余金	その他利益剰余金				
2009年6月30日残高	693,250	661,338	—	△75,768	△53,911	1,224,908	△727	1,224,181
事業年度中の変動額								
資本準備金の取崩		△129,679	129,679					
欠損填補			△75,768	75,768				
当期純利益				23,001		23,001		23,001
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)							947	947
事業年度中の変動額合計	—	△129,679	53,911	98,769	—	23,001	947	23,948
2010年6月30日残高	693,250	531,658	53,911	23,001	△53,911	1,247,909	220	1,248,130

アクモスジャンクション

20期からのグループ体制

第20期(2011年6月期)からのグループ体制は、情報技術事業をITソリューション事業とITサービス事業に分けた2事業体制となります。グループ連携体制を強化して各社が営業協力し、お客様のニーズに適合したサービスとソリューションを相互に提供してまいります。

事業領域	会社名	資本金 (百万円)	議決権 比率	所在地	主な事業内容						
ITソリューション	アクモス株式会社	693	—	東京都千代田区	コンサルティング	SI・ソフトウェア開発	IT基盤・ネットワーク構築	保守・運用サービス			
	ACMOSソーシングサービス株式会社	13	100% ※1	東京都港区		SI・ソフトウェア開発	IT基盤・ネットワーク構築	保守・運用サービス			
ITサービス	株式会社エクスカル	26	50%	神奈川県横浜市保土ヶ谷区	コンサルティング				検証サービス		
	株式会社ジイズスタッフ	50	100%	東京都新宿区						情報処理サービス	BPOサービス ※2

※1 ACMOSソーシングサービス株式会社は、自己株式を除く発行済株式の全てを取得しております。

※2 BPOとは、ビジネス・プロセス・アウトソーシングの略です。

※3 アクモス・アカウンティング株式会社は、アクモス株式会社に業務を移管し、事業活動をほとんど行っていないため上記の表には含めておりません。

ITソリューション	コンサルティング <ul style="list-style-type: none"> ● 公共系システム ● 産業系システム 制御システム 情報システム エンベデッドシステム 	SI・ソフトウェア開発、IT基盤・ネットワーク構築 <ul style="list-style-type: none"> ● 公共系システム ● 産業系システム ● 医療系システム ● 製造系システム 制御システム 情報システム エンベデッドシステム 	保守・運用サービス <ul style="list-style-type: none"> ● 24時間・365日運用サービス
	ITサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 品質向上コンサルティング 	検証サービス <ul style="list-style-type: none"> ● 規格認証 ● 第三者認証 ● ユーザビリティ評価

新子会社紹介

ACMOSソーシングサービス株式会社



代表取締役社長 石川 稔

「ACMOS+アウトソーシングサービス」に成長の想いを乗せて

2010年3月に子会社となった日本メカトロニクス株式会社は、2010年7月にACMOSソーシングサービス株式会社(以下「ASS」という)に社名を変更いたしました。

ASSは、1981年に創業開始以来、トラックの生産管理システム開発、医療情報システム開発、健診システムパッケージ開発とインテグレーションに特化して事業を進め、1990年からは、社会インフラの一翼を担う医療機関のコンピュータ運用管理として24時間365日の運用業務を展開し、永年の実績と多くのお客様からの厚い信頼を得ております。

今後は、ASSが長年培ってきた運用ノウハウを活かし、技術力と資格を備えた医療・自治体・製造等のクラウド化に対応した運用サービスなど、更なるアウトソーシングサービスの事業を展開して社会に貢献していきます。

人を育てる

アクモス株式会社では、第20期の基本方針4つのうちの1つとして「人財育成カリキュラムの実施」を挙げています。
生まれ変わった教育研修体制について、総務人事部の新井課長に聞きました。

当社では、「アクモスの財産は社員である」をキーワードに、社員一人ひとりのスキルアップを目的とした教育研修を企画・実施しています。

第20期は、新たに「e-ラーニング研修」を教育研修ツールとして導入しました。個人で受講時間を設定して手軽にパソコン上で学習ができ、また管理者が進捗状況を見ることができるなど、目標達成に大きな役割を果たしてくれるだろうと確信しています。

新人研修や昇進者研修などの集合型研修では、終了後に受講者の上長と個別に面談し、研修結果のフィードバックを行っています。面談で研修結果を共有することにより、改善を繰り返してより効果ある研修を目指しています。

「人財をより大きく・たくましく・豊かにする」教育研修を、引き続き進めていきたいと考えています。



アクモス株式会社 総務人事部 新井 守

アンケート御礼

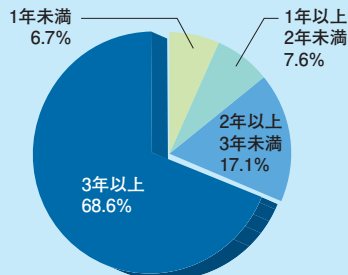
2010年春に、web上にて株主様アンケートを実施させていただきました。
数多くのみなさまから貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。

<アンケート実施概要>

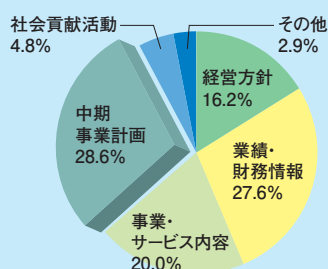
実施期間：2010年3月19日～2010年5月18日

参加いただいた株主様：105名(全体の2.6%、男性84名・女性21名)

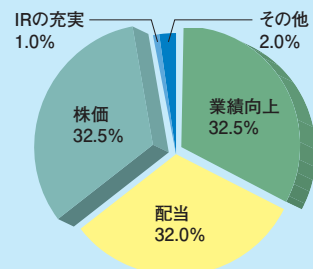
Q1:当社の株式の保有期間はどのくらいですか?



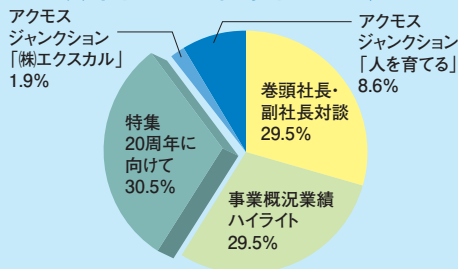
Q2:当社に関して、もっと知りたい情報は何か?



Q3:当社に望むことは何か?(複数選択可)



Q4:前回の「アクモスハイウェイ」で興味をもたれた記事をお選びください



株主様からのご意見

- 株価の向上もだが、せめて配当が出来るようになって欲しい。
(40代 男性)
- 積極的なM&Aにより業績の向上に期待します。
(50代 男性)
- それぞれの子会社が有している良い点を伸ばしながら、経営資源の効率的再配置により、グループ全体としての業績を伸ばしてほしい。
(40代 男性)

アンケートへのご協力をお願い致します

このたび、「アクモスハイウェイ」の発行を秋の年1回とさせていただくことになりました。そのため、第20期は秋に株主様アンケートを実施させていただきます。同封のアンケートハガキに必要事項をご記入のうえ、ご返送くださいますようお願い申し上げます。アンケートの回収は2010年9月28日より、締切は2010年10月31日(消印有効)とさせていただきます。

なお、アンケートにご協力頂き、お名前、ご住所等をご記入いただいた方の中から抽選で300名様に謝礼品をお送りいたします。お送りする品物は、特定非営利法人ピースウィンズ・ジャパンの商品を予定しております。



前回のアンケートにご協力いただいた株主様に「コーヒー&ぱれっとクッキーギフトセット」をお届けいたしました。コーヒーは東ティモール産、クッキーは障害者の社会参加と自立を目的に開設された「おかし屋ぱれっと」で製造されたものです。この購入代金の一部は、特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパンを通じて国際協力・災害支援活動などに活用されます。

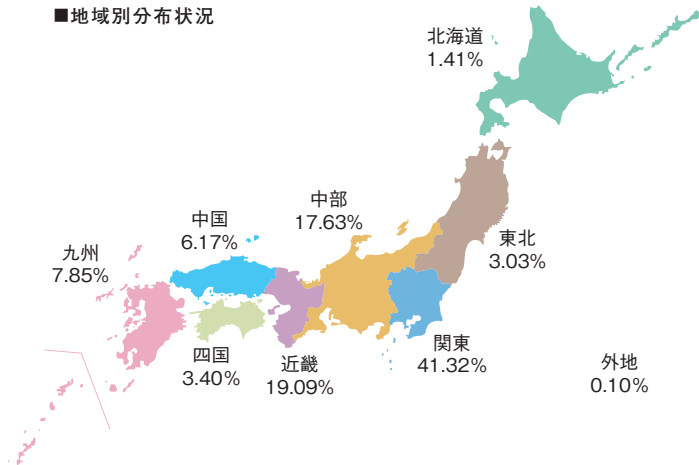
株式の状況 (平成22年6月30日現在)

- 発行可能株式数 323,000株
- 発行済株式総数 102,154株
- 議決権を有する株主数 3,823名
- 上位10名の株主の状況

株主名	持株数
コンセーユ・ティ・アイ株式会社	19,050株
飯島秀幸	10,764株
宮本治	5,235株
有限会社マルミ	2,892株
株式会社ベンチャー総研	2,000株
アクモスグループ社員持株会	1,954株
新保幸男	1,205株
金子登志雄	960株
村上宜己	901株
檜山秀夫	827株

※自己株式を除く発行済株式総数の上位10名の株主を記載しております。

■地域別分布状況



役員及び執行役員の状況 (平成22年9月27日現在)

取締役	代表取締役社長	飯島秀幸	執行役員	専務執行役員	佐藤修一
	代表取締役副社長	檜山秀夫		常務執行役員	上野隆
	取締役相談役	宮本治		常務執行役員	石川稔功
	取締役	金子登志雄		執行役員	桑名功
	取締役(社外)	柴田洋一		執行役員	鈴木伸昌
監査役	取締役(社外)	倉井康則	執行役員	深作耕一	
	監査役(常勤)	萩原啓一	執行役員	清川明宏	
	監査役(非常勤)	星野隆宏	執行役員	中川智章	
	監査役(非常勤)	平野喜久臣	執行役員	米川渡	

※取締役及び監査役については、第19回定時株主総会終了後の状況を記載しております。

主な事業所	本社	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町三丁目23番地神保町錦明ビル	TEL:03-3239-2377
	茨城本部	〒319-1112 茨城県那珂郡東海村村松2713番地7	TEL:029-270-5555
	つくば事業所	〒305-0045 茨城県つくば市梅園二丁目7番3号つくばシティビル6F	TEL:029-860-2021
	いわき事業所	〒970-8026 福島県いわき市平字菱川町4番9号菱川ビル4F	TEL:0246-21-6585

株主メモ

事業年度

7月1日から翌年6月30日まで

定時株主総会

毎年9月下旬

公告方法

電子公告

http://www.acmos.co.jp/ir/brief_note.html

(電子公告により行なうことが事故その他やむをえない事情によりできない場合には、日本経済新聞に掲載して行ないます。)

株主名簿管理人(特別口座の口座管理機関)

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式事務関係のお問い合わせ

■お問い合わせ先・郵便物送付先

三菱UFJ信託銀行株式会社

証券代行部テレフォンセンター

電話0120-232-711(通話料無料)

受付時間 土日祝日を除く 9:00-17:00

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

■株券の電子化に伴い、株主様の住所変更、その他の各種手続きについては、原則として、証券取引口座を開設されている証券会社等で承ることになっております。

■特別口座に記録された株式の各種手続きについては、三菱UFJ信託銀行証券代行部テレフォンセンターにお問い合わせください。



本社

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町三丁目23番地
神保町錦明ビル

TEL:03-3239-2377 FAX:03-5275-2890



茨城本部

〒319-1112

茨城県那珂郡東海村村松2713番地7

TEL:029-270-5555 FAX:029-270-5531

アクモスハイウェイは
環境に配慮して
制作しています。



グリーン電力
で印刷して
います。



環境に配慮した
用紙、インクを
採用しています。



ACMOS

アクモス 株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町三丁目23番地神保町錦明ビル
TEL:03-3239-2377 FAX:03-5275-2890 <http://www.acmos.co.jp/>

JASDAQ

証券コード：6888

[編集・発行] アクモス株式会社 経営情報管理部

[制作] ジャパン ストラテジック ファイナンス株式会社